

所管事項調査

目次

交流拠点施設整備の進捗状況について

1 事業スケジュール	1
2 事業の範囲	1
3 見直しの経過	2
4 基本設計に関する提案時からの主な変更点	3～5

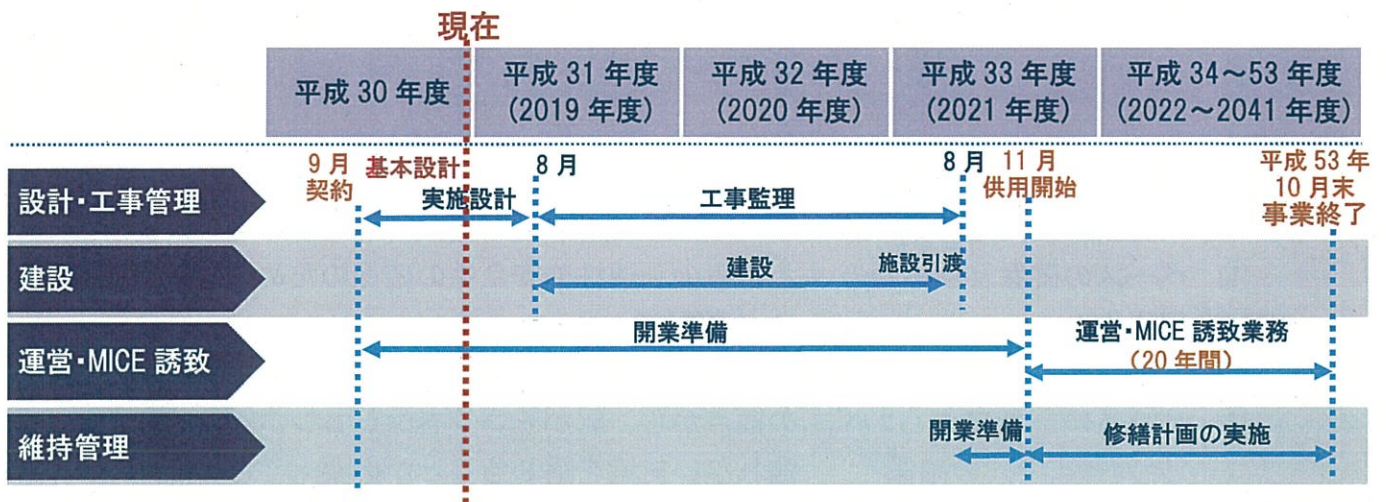
文化観光部

平成31年2月



1 事業スケジュール

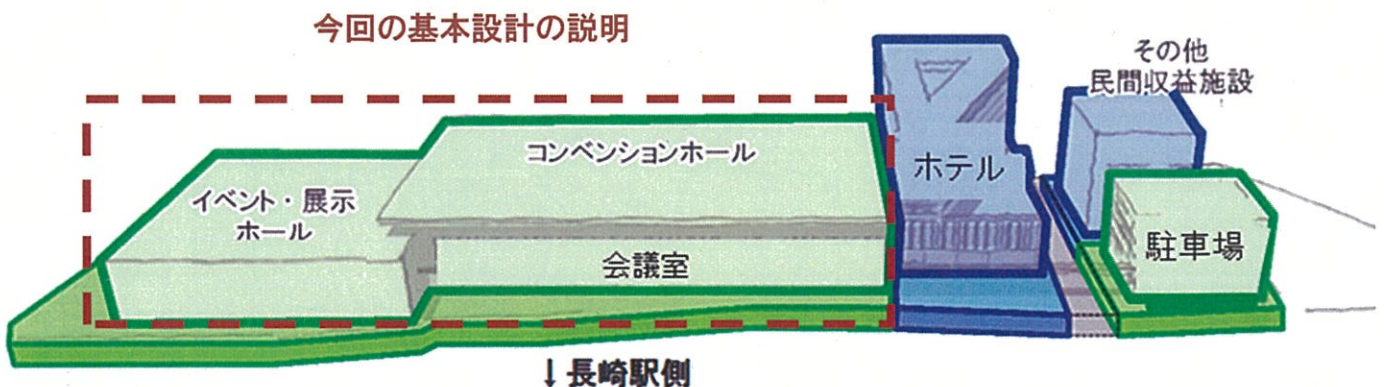
- 平成30年 9月 : 事業契約締結
- 平成30年 9月 : 基本設計着手
- 平成31年 8月 : 建設工事着工（予定）
- 平成33年 8月 : 施設の引渡（予定）
- 平成33年11月 : 施設の供用開始（予定）



2 事業の範囲

MICE事業の範囲：下図の緑色の施設

民間収益事業の範囲：下図の青色の施設（民間事業者が設計・建設、運営）



3 見直しの経過

(1) 会議開催状況

ア	長崎市交流拠点施設検討推進本部施設整備部会	2回
イ	長崎駅周辺エリアデザイン調整会議（専門部会含む）	2回
ウ	長崎駅舎・駅前広場等デザイン検討会議	2回
エ	イベント事業者（地元放送局等6社）	1回
	ケータリング事業者（地元ホテル4社）	1回

(2) 主な課題

	主な課題	概要
①	施設2階部分の滞留スペースの確保及び移動の円滑化	2階フロアの溜り場が不足していることから、歩行者の利便性や安全性の確保のために滞留スペースが必要
②	雨に濡れない動線（新JR長崎駅西口からコンベンションホールまで）の確保	長崎駅周辺エリアデザイン指針や利用者の利便性の観点から、駅からコンベンションホールまで雨に濡れない対策を講じることが必要
③	ペDESTリアンデッキの利用における円滑な入退場の実現	施設側とペDESTリアンデッキが直角に接続しているため、入退場の円滑な移動ができるよう、接続部の拡幅が必要
④	MICE施設の屋根の有効活用	広大な平面の屋根は目立つので、工夫をして有効な活用策の検討が必要
⑤	稲佐山からみたMICE施設の夜景への貢献	稲佐山から見る夜景の眺望について配慮が必要

4 基本設計に関する提案時からの主な変更点

提案時からの主な見直し	対応策	2F 平面図
<p>1 施設内滞留スペースの確保及び移動の円滑化</p> <p>2階フロアの溜り場が不足していることから、歩行者の利便性や安全性の確保のために滞留スペースが必要。</p>	<p>●稲佐山プロムナードの幅を拡張</p> <p>施設の諸室配置の構成上、南北面の拡張は困難なため、東西面の貫通通路である稲佐山プロムナードの幅を拡張。</p> <p>【変更前】 約2.5m幅(約160㎡) → 【変更後】 約11m幅(約700㎡)</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設内(2階)の滞留緩衝機能の向上 ●2階動線のスムーズな移動の確保による利便性・安全性の向上 ●有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外展示スペースとしての機能追加 ・休息時などの機能追加 ・稲佐山の眺望改善 	<p>【提案時】</p>
<p>2 会議室のレイアウト見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲佐山プロムナード拡張に伴い、2階小会議室の一部を残し、会議室を1階に集約し、レイアウトの見直しを実施。 ・全ての会議室から浦上川や稲佐山が望めないため、一部会議室から稲佐山側を望めるよう、配置を変更。 	<p>2-(1) ●会議室のレイアウトの変更</p> <p>【変更前】 全25室(約2,260㎡) → 【変更後】 全22室(約2,340㎡)</p> <p>《2階16室、1階9室》 → 《2階6室、1階16室》</p> <p>(要求水準 2,500㎡ ±10%)</p> <p>2-(2) ●稲佐山側が望める会議室の配置</p> <p>2階会議室2室の向きを西側へ変更</p>	<p>【変更案】</p>
<p>3 雨に濡れない動線(新JR長崎駅西口からコンベンションホールまで)の確保</p> <p>長崎駅周辺エリアデザイン指針や利用者の利便性の観点から、駅からコンベンションホールまで雨に濡れない対策を講じる必要がある。</p>	<p>●屋根付きのペデストリアンデッキへ変更</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●雨天時における利用者の利便性向上 	<p>Callout 3: 屋根付きのペデストリアンデッキへ変更</p>
<p>4 ペデストリアンデッキの利用における円滑な入退場の実現</p> <p>施設側とペデストリアンデッキが直角に接続しているため、入退場の円滑な移動ができるよう、接続部の拡張が必要。</p>	<p>●ペデストリアンデッキの有効幅員を一部拡張</p> <p>施設側出入口に接続しているペデストリアンデッキの一部有効幅員を拡張。</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入退場時の円滑な入退場の実現による利便性・安全性の向上 	<p>Callout 4: 有効幅員を一部拡張</p>
<p>5 コンベンションホールの分割の拡充</p> <p>コンベンションホールは2,720㎡と広いホールであるため、利用者及び主催者がより利用しやすいホールになるよう、ホール内の分割の拡充を実施。</p>	<p>●可動間仕切りによる分割を3分割から4分割へ変更</p> <p>《効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンベンションホールの稼働率向上 	<p>Callout 5: 3分割から4分割へ変更</p>

提案時からの主な見直し

対応策

1F 平面図

6 1階と2階をつなぐ動線の追加

利用者及び主催者側がより利用しやすいホールになるよう、1階と2階をつなぐ動線を追加。

●2階稲佐山プロムナードへつなぐ階段を設置

屋内階段設置のため、イベント・展示ホールの面積を変更

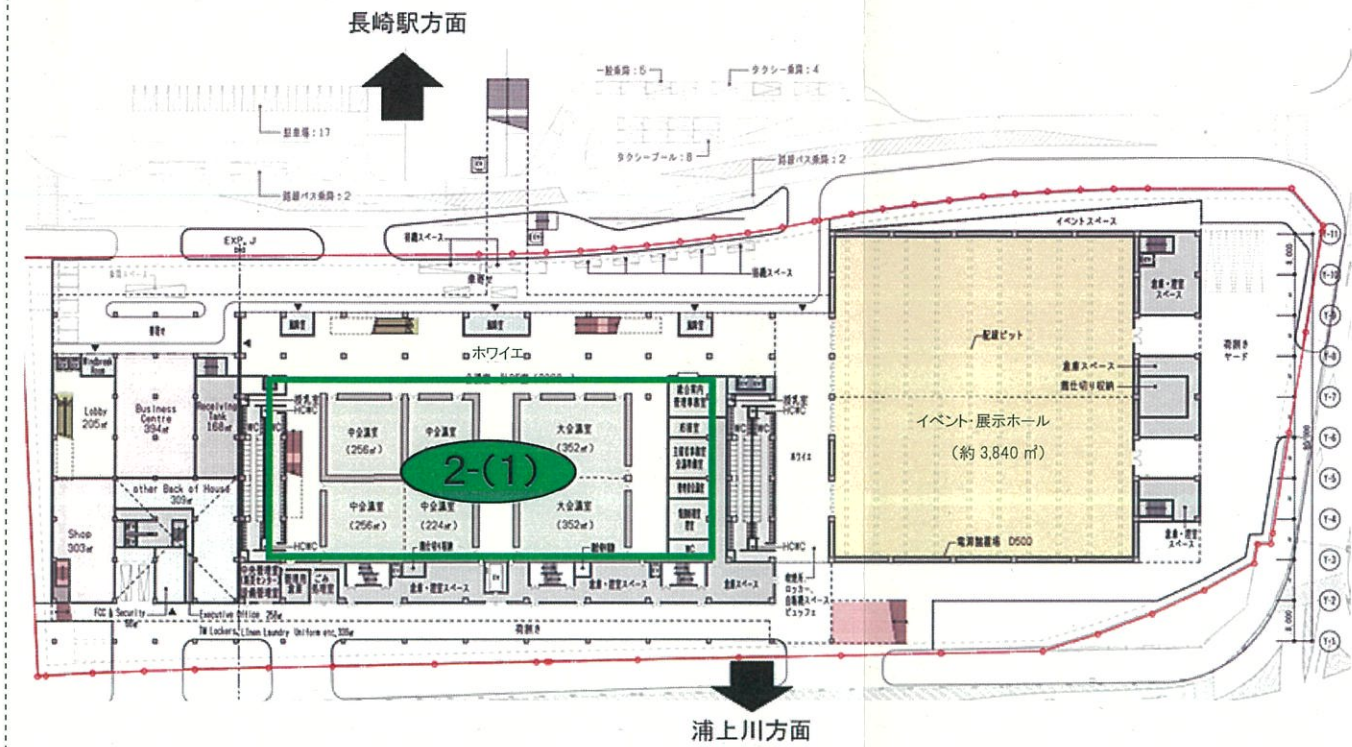
【変更前】

【変更後】

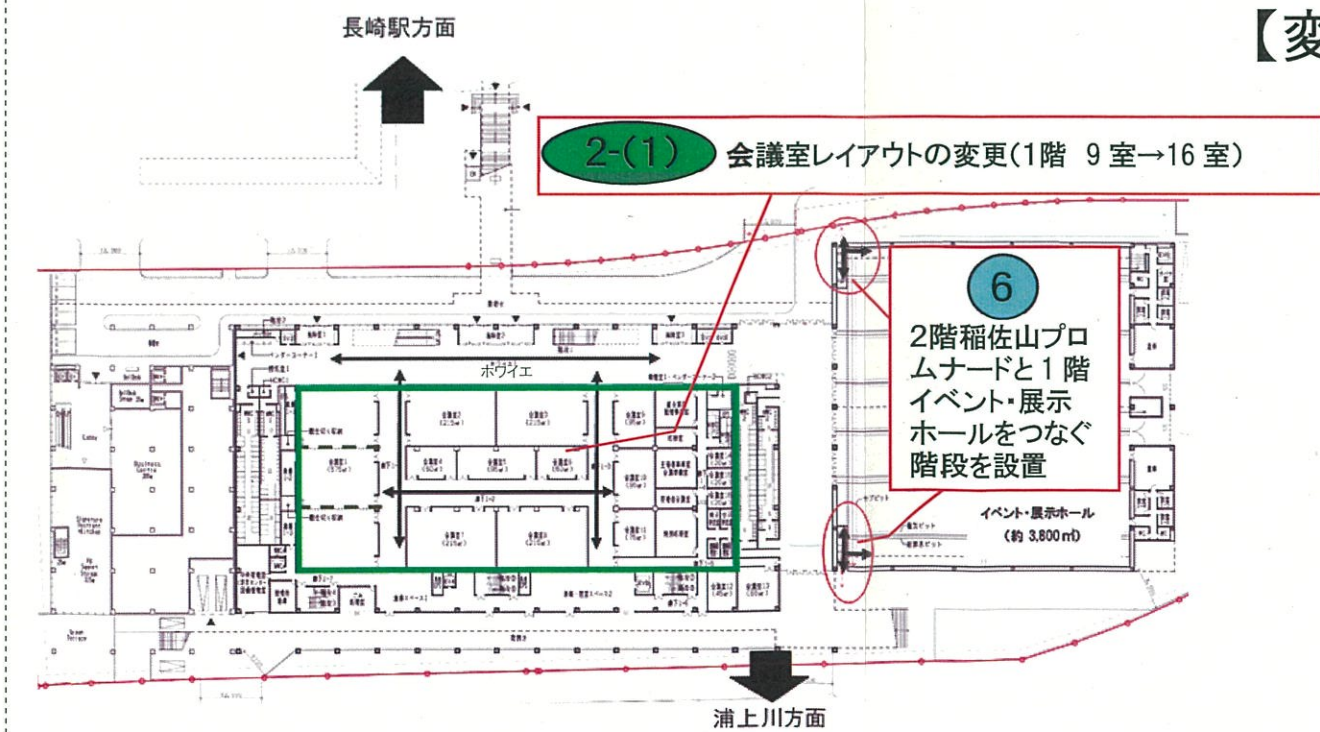
約 3,840 m² → 約 3,800 m²

(要求水準 4,000 m² ±10%)

【提案時】



【変更案】



提案時からの主な見直し

検討内容

屋上平面図・立面デザイン

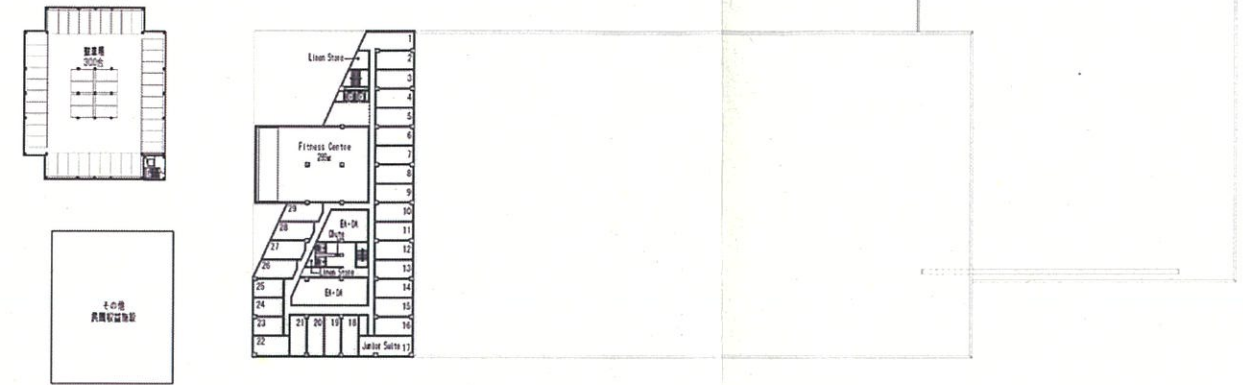
7 MICE施設の屋根の有効活用
(検討中)

広大な平面の屋根は目立つので、工夫をして有効な活用策の検討が必要。

●現在検討中

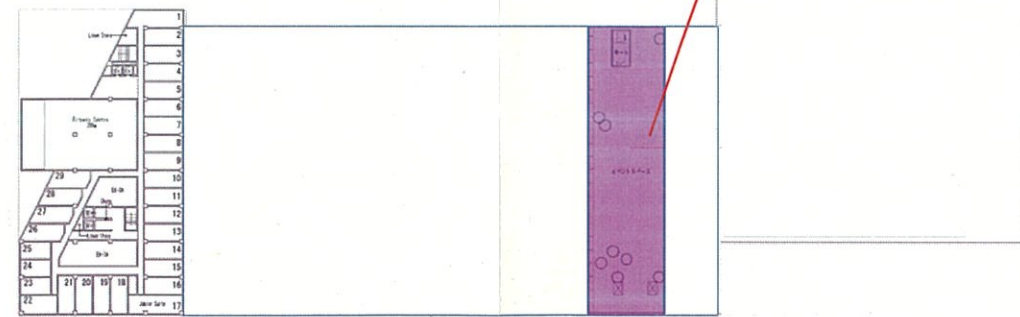
人が居心地のいい空間として感じられる(例 高級感がある庭園)眺望デッキやベンチ・プランターなどの配置などを検討中。

【提案時】



7 MICEの屋根の有効活用 → 検討中

【変更案】



8 稲佐山からみたMICE施設の夜景への貢献
(検討中)

稲佐山から見る夜景の眺望について配慮が必要

●現在検討中

駅の膜屋根など周辺との調和を考え、稲佐山から見える西側壁面部の照明の工夫が必要。

(例)側面に建物の存在が感じられるよう、連続性を大切にした照明の設置やリバーサイドデッキの照明や保安灯の活用などの検討。

【立面デザイン】

8 稲佐山からみたMICE施設の夜景への貢献 → 検討中

